

「ながさき中高年世代活躍応援プラン」の取組状況

【長崎県（福祉保健部福祉保健課）】

計画期間	令和7年度（令和7年6月20日～令和8年3月31日）
------	----------------------------

支援対象者	(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方		
目標	ひきこもりの状態にある方やその家族が孤立しないために、身近な地域で支援を受けられる体制を推進し、社会参加につながることを目標とする。		
KPI	項 目	目 標 値	
	県内全市町でのひきこもり相談窓口の明確化及び周知	21 市町	
<p>(相談支援体制の充実)</p> <p>○ ひきこもり状態にある方やその家族が、お住まいの地域で容易に相談できるように、市町での相談窓口を明確化した上で、広報等により住民への周知を図る。</p> <p>《長崎県、長崎県社会福祉協議会、長崎県市長会、長崎県町村会》</p> <p>【主な取組状況等】</p> <p>(相談支援体制の充実)</p> <p>生活困窮者自立相談支援機関において、ひきこもりの状態にある方や社会的孤立状態にある方を含めた生活困窮の状態にある方に対し、相談支援員による個々のニーズに応じた支援（訪問支援を含む）を実施した。自立相談支援機関において、民生委員等の住民により身近な支援者に対して生活困窮者支援に関する周知を行った。</p> <p>「長崎県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」を通じて、県ホームページや会員向けメールマガジン等により、ひきこもり相談窓口に限らず孤独・孤立に関する県の施策や会員の活動等を周知した。</p> <p>《長崎県（福祉保健課）》</p> <p>【評価】</p> <p>生活困窮者からの相談に対し、関係機関との連携のもと支援を行い、関係機関間の連携強化、自立相談支援機関における支援内容の周知につながった。</p> <p>令和7年9月29日に「長崎県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」を設立し、令和7年11月末時点での会員数は69団体となっている。このプラットフォームを通じて、ひきこもり相談窓口に限らず孤独・孤立に関する県の施策や会員の活動等を周知し、孤独・孤立対策に対する理解と機運の醸成を図ることができた。</p> <p>《長崎県（福祉保健課）》</p>			
KPI 項目		実績累計	進捗率
県内全市町でのひきこもり相談窓口の明確化及び周知		件	%